

平成22年(2010年)3月期 第2四半期累計期間決算発表



第2回株主様工場見学会にてEX1900実演風景

決算の概要

(単位:億円)

<第2四半期累計>

•対前年比で40%の売上減。ドルで9円強、1-Qで30円強の強烈的な円高にも関わらず9億の営業利益を確保。

•売上高をはじめ、全て7月発表時の計画値を上回る。特に経常利益は7月の計画値を29億改善。

•7-9月期では利益項目全て黒字転換。1-3月期から四半期毎に着実に改善。

	第2四半期累計			四半期(内訳)		(参考)	
	09年	08年	対前年同期比	09年第2Q	09年第1Q	08年第4Q	
売上高	(2,700) 2,723	4,541	60%	1,400	1,323	1,440	
営業利益	(0) 9	471	2%	33	24	79	
経常利益	(55) 26	455	-	15	41	70	
当期純利益	(85) 73	222	-	13	86	72	
為替	売上計上レート(円/ドル)	95.64	104.99	/	94.63	96.72	93.10
	予約反映後レート(円/ドル)	94.43	104.72		95.56	93.22	98.16
	売上計上レート(円/1-Q)	132.66	162.93		133.38	130.52	121.48
	予約反映後レート(円/1-Q)	133.11	158.99		133.75	131.20	168.80
1株当たり配当金	5円	22円	-17円				

注.()内は09年7月対外発表値

要約連結損益計算書

(単位:億円)

	09年 第2Q累計	08年 第2Q累計	対前年同期比	
			金額	%
売上高	2,723	4,541	1,818	60%
売上原価	2,154	3,286	1,132	66%
販売費・管理費	560	784	224	71%
営業利益	9	471	462	2%
営業外損益	36	17	19	-
経常利益	26	455	481	-
特別損益	3	7	4	46%
法人税等	26	163	137	16%
少数株主損益	17	62	45	27%
四半期純利益	73	222	295	-

地域別売上比率・売上高(連結)

•中国
需要(油圧ショベル需要、以下同じ)は大幅に増加したが売上 11%
為替と現地関連会社在庫調整のため
次頁にて詳細説明

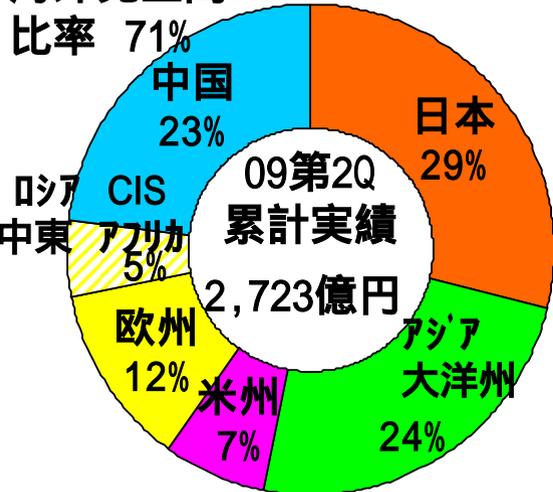
•アジアCIS中東アフリカ
アジアCISへの出荷止めが主因となり売上高 80%

•欧州
シェア改善により需要減に比べ売上減の割合は少なかった

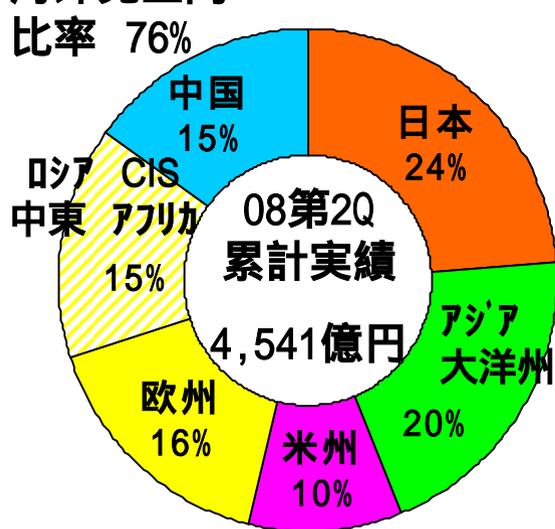
•アジア大洋州
マイングビジネス堅調

•日本
需要は 65%だが部品サービス、レンタル等ビジネス多岐にわたっており売上高 27%にとどまる

海外売上高

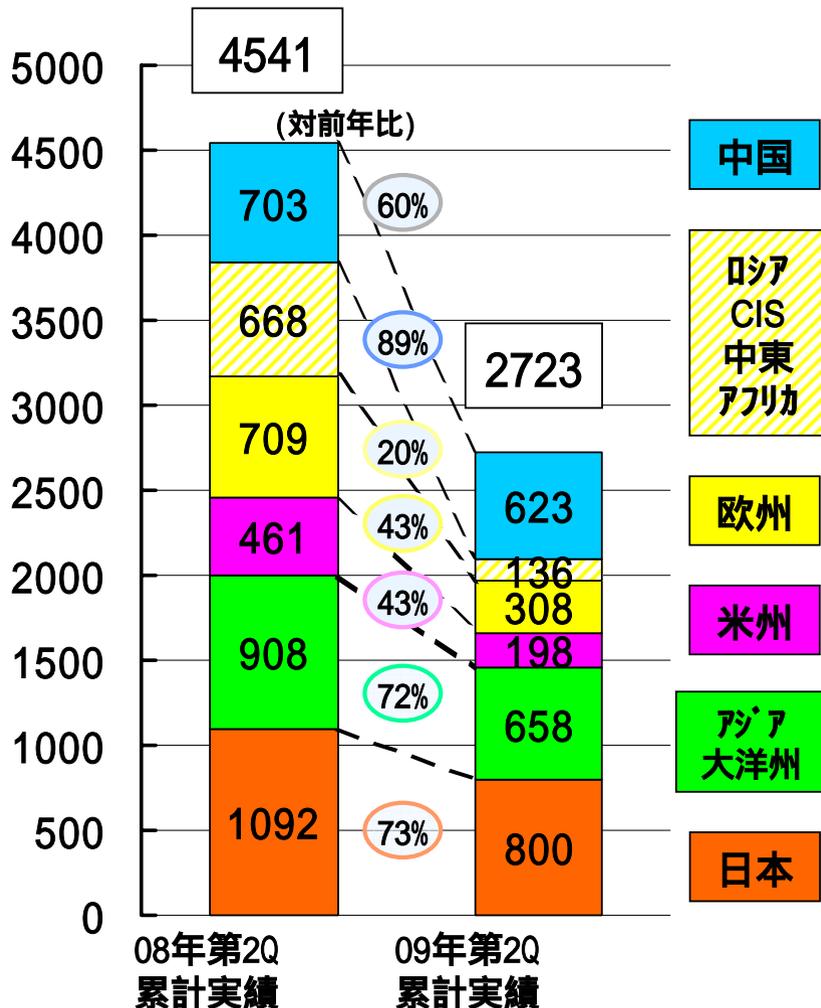


海外売上高



(億円)

売上高



08/上期 09/上期 増減
 連結売上高 703億円 623億円 -80億円

コンポーネント

日立建機中国
 (製造会社)

日立建機上海
 (卸売会社)

08/上期 09/上期 増減
 売上高 496億円 474億円 -22億円
 販売台数は前期比4%の増

為替換算の影響による減 54億円
 実質は、32億円の増収

日立建機

完成車

永立建機
 (関連会社)

在庫調整による減

08/上期 09/上期 増減
 売上高 116億円 59億円 -57億円
 永立建機への販売台数は前期比36%の減

現地での販売台数は
 前期比34%の増

代理店

エンドユーザー

→ : 連結売上高(グル - プ外売上高)

所在地別 売上高内訳(実績)

(単位:億円)

売上高増減の
主な要因

(08-2Q vs 09-2Q)

- 日立建機** 1749
国内 277億、
輸出 1472億、
海外への供給減
- 国内製造** 412億
日立建機ティエフ、日
立住友重機械建機
クレーンが主因
- 海外製造** 981億
ヨーロッパ 666億
- 海外・販売サービス**
552億
南ア、豪、米の各
社がそれぞれ減収

		会社数		売上高			
		09第2Q 累計実績	08第2Q 累計実績	09第2Q累計 実績(A)	08第2Q累計 実績(B)	増減 (A-B)	対前年 同期比 (A/B)
日立建機		-	-	798	2,547	1,749	31%
国内	製造	7	7	261	673	412	39%
	レンタル	1	1	156	171	15	91%
	ソフト事業他	8	8	321	626	305	51%
計		16	16	738	1,470	732	50%
海外	製造	5	5	859	1,840	981	47%
	販売・サービス	18	17	1,416	1,968	552	72%
計		23	22	2,275	3,808	1,533	60%
T C Mグループ 注1		23	25	340	746	406	46%
合計		62	63	4,151	8,571	4,420	48%
連結調整				1,428	4,030	2,602	35%
連結売上高				2,723	4,541	1,818	60%

注1) T C Mグループ連結数値

要約連結損益計算書

(単位:億円)

•売上減、為替円高推移により、売上原価率は、前年同期比6.7%悪化、販売管理比率は同3.2%悪化
 営業利益率は10.1%悪化

	09年 第2Q累計		08年 第2Q累計		対前年同期比	
					金額	%
売上高		2,723		4,541	1,818	60%
売上原価	(79.1%)	2,154	(72.4%)	3,286	1,132	66%
販売費・管理費	(20.5%)	560	(17.3%)	784	224	71%
営業利益	(0.3%)	9	(10.4%)	471	462	2%
営業外損益		36		17	19	-
経常利益		26		455	481	-
特別損益		3		7	4	46%
法人税等		26		163	137	16%
少数株主損益		17		62	45	27%
四半期純利益		73		222	295	-

営業損益増減の
主な要因

(08-2Q vs 09-2Q)

所在地別 売上高・営業損益内訳(実績)

(単位:億円)

•日立建機 352

上期は土浦工場の
メインラインを停止し改
造等に特化 極めて
低い操業度

•国内製造 69億

日立建機フィエラ、日
立住友重機械建機
グループも上記理由か
ら損益悪化

•海外製造 101億

ヨーロッパ 76億
中国 20億(為替
等の影響)

•海外・販売サービス
68億

南ア、豪、米の各
社がそれぞれ減益

•連結調整

棚卸資産の未実現
利益 前年比+147
億 世界中で棚卸
資産大幅縮減の効
果

	売上高			営業損益		
	09第2Q累計 実績(A)	08第2Q累計 実績(B)	増減 (A-B)	09第2Q累計 実績(C)	08第2Q累計 実績(D)	増減 (C-D)
日立建機	798	2,547	1,749	208	144	352
国内						
製造	261	673	412	26	43	69
レンタル	156	171	15	12	12	0
ソフト事業他	321	626	305	10	25	15
計	738	1,470	732	28	56	84
海外						
製造	859	1,840	981	19	120	101
販売・サービス	1,416	1,968	552	115	183	68
計	2,275	3,808	1,533	134	303	169
TCMグループ 注1	340	746	406	18	13	31
合計	4,151	8,571	4,420	120	516	636
連結調整	1,428	4,030	2,602	129	45	174
連結売上高・営業利益	2,723	4,541	1,818	9	471	462

注1) TCMグループ連結数値

要約連結損益計算書

8

(単位:億円)

	09年 第2Q累計	08年 第2Q累計	対前年同期比	
			金額	%
高上売	2,723	4,541	1,818	60%
原価	2,154	3,286	1,132	66%
管理費・販売費	560	784	224	71%
営業利益	9	471	462	2%
営業外損益	36	17	19	-
経常利益	26	455	481	-
特別損益	3	7	4	46%
法人税等	26	163	137	16%
少数株主損益	17	62	45	27%
四半期純利益	73	222	295	-

連結営業外損益比較(実績)

(単位:億円)

•金融収支 18億

日立建機上海の受取利息減 15億
日立建機リースが
チャ付設立、これまで日立建機上海で行っていた、ファイナンス業務を移管、金融収支は営業利益として計上
(これまでの営業外利益が営業内へ移った)

•持分法による投資損益 20

インド テルコ社 9億
米 デイア日立 6億

•為替差損益 10億

日立建機分は好転、元、南アランドの円高の影響

	09年 第2Q累計	08年 第2Q累計	増減
金融収支	24	6	18
持分法による投資損益	12	8	20
為替差損益	5	15	10
その他	5	4	9
計	36	17	19

要約連結損益計算書

(単位:億円)

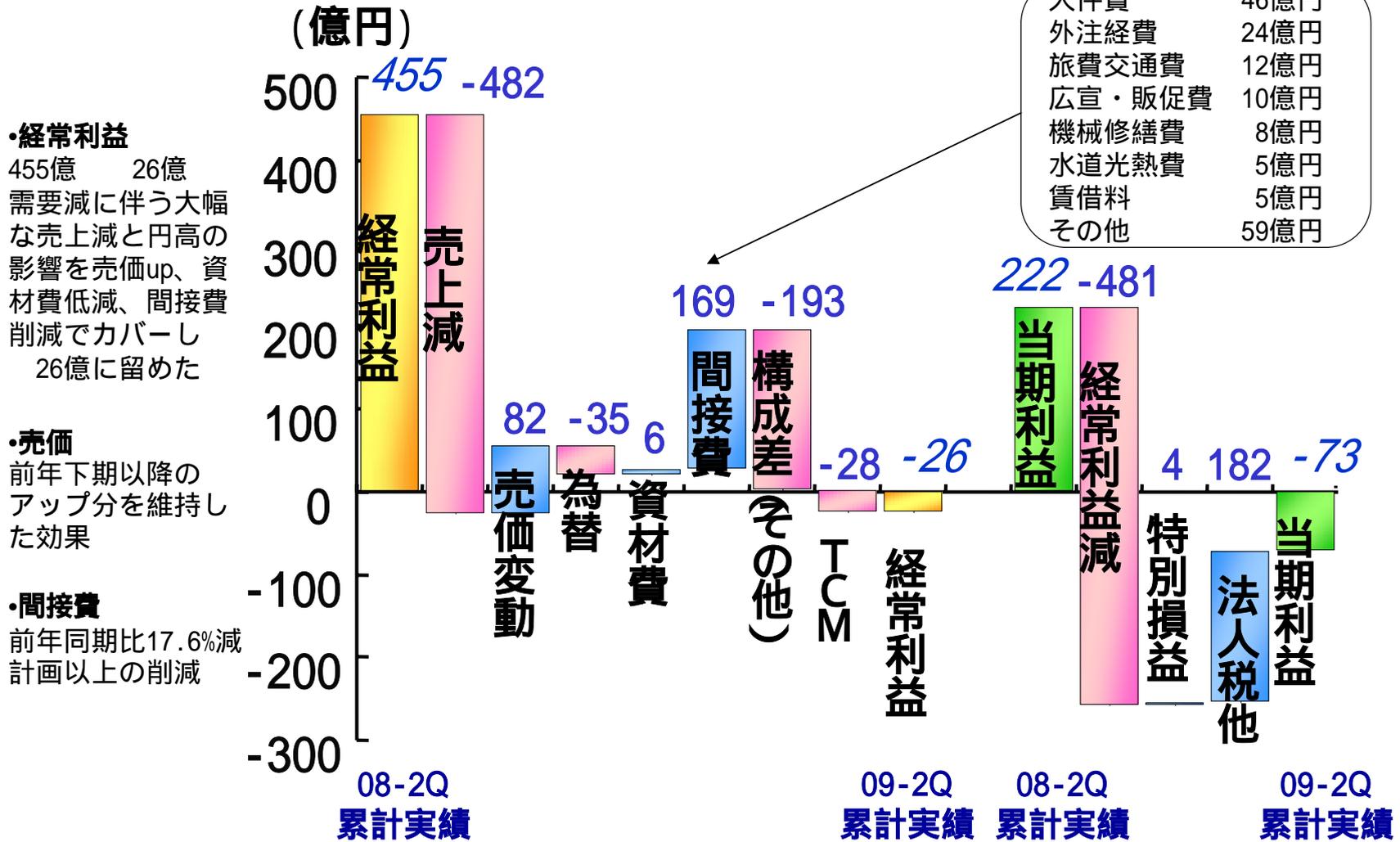
・特別損失 3億
TCMの構造改革による特別損失

・四半期純利益
未実現利益に関する税効果が取れない影響が56億あり73億。(第1四半期に計上、年間影響残る)

日立建機単独が黒字化した時点で好転する

	09年 第2Q累計		08年 第2Q累計		対前年同期比	
					金額	%
売上高	2,723		4,541		1,818	60%
売上原価	(79.1%) 2,154		(72.4%) 3,286		1,132	66%
販売費・管理費	(20.5%) 560		(17.3%) 784		224	71%
営業利益	(0.3%) 9		(10.4%) 471		462	2%
営業外損益	36		17		19	-
経常利益	(1.0%) 26		(10.0%) 455		481	-
特別損益	3		7		4	46%
法人税等	26		163		137	16%
少数株主損益	17		62		45	27%
四半期純利益	(2.7%) 73		(4.9%) 222		295	-

連結損益変動要因(実績)



人件費	46億円
外注経費	24億円
旅費交通費	12億円
広宣・販促費	10億円
機械修繕費	8億円
水道光熱費	5億円
賃借料	5億円
その他	59億円

・経常利益
455億 26億
需要減に伴う大幅
な売上減と円高の
影響を売価up、資
材費低減、間接費
削減でカバーし
26億に留めた

・売価
前年下期以降の
アップ分を維持し
た効果

・間接費
前年同期比17.6%減
計画以上の削減

要約連結貸借対照表

(単位:億円)

•総資産 7,716億

08年度末 698億

•固定資産 29億

有形固定資産 53億

(投資抑制効果)

•流動資産 670億

受手・売掛金

売上減・入金促進等により

445億

リース債権 中国、インドネシアのリース債

権増により+293億

たな卸資産 在庫圧縮

により 487億

•純資産 92億

資本金・剰余金 119

億が主因(純利益マイナス

配当)

•自己資本比率1.2%向

上

自己資本の減少より総

資産の圧縮幅が大き

かったことによる

•有利子負債 160億

(キャッシュフロー好

転)

	(A) 09年第2Q	(B) 08年度	(C) 08年第2Q	(A-B) 増減		(D) 09年第2Q	(E) 08年度	(F) 08年第2Q	(D-E) 増減
現金及び預金	409	401	438	8	支手・買掛金	675	1,004	1,800	329
受手・売掛金	1,314	1,759	2,221	445	その他	2,396	3,140	2,382	744
リース債権・投資資産	521	228	-	293	流動負債計	3,071	4,144	4,182	1,073
たな卸資産	2,196	2,683	2,642	487	固定負債計	1,426	960	1,017	466
その他	278	317	588	39	負債合計	4,497	5,104	5,199	607
流動資産計	4,718	5,388	5,889	670	少数株主持分	382	368	423	14
有形固定資産	2,217	2,270	2,225	53	資本金・剰余金	3,105	3,224	3,311	119
無形固定資産	270	262	227	8	その他	269	282	65	13
投資その他	511	494	527	17	(自己資本比率)	(36.7%)	(34.9%)	(36.5%)	(1.8%)
固定資産計	2,997	3,026	2,979	29	純資産合計	3,218	3,310	3,669	92
資産合計	7,716	8,414	8,868	698	負債・純資産合計	7,716	8,414	8,868	698

	(36.9%)	(35.7%)	(24.0%)	(1.2%)
有利子負債計	2,846	3,006	2,133	160
現金及び預金	409	401	438	8
ネット有利子	(31.6%)	(31.0%)	(19.1%)	(0.6%)
負債	2,437	2,605	1,694	168

ネット D / E レシオ	0.86	0.89	0.52	0.03
------------------	------	------	------	------

連結キャッシュフロー

(単位:億円)

13

・営業キャッシュフローは361億と好転

キャッシュフローの原資となる税金等調整前当期純利益は減少したが、運転資金の棚卸資産縮減、法人税等の減少等が奏功

・フリーキャッシュフローの黒字化

投資活動のキャッシュフローは投資活動抑制により減少

その結果、フリーキャッシュフローは237億と黒字化できた。

フリーキャッシュフローの用途は配当金、利息支払い(109億)、借入金返済、手持ち資金積み増しに使用

区 分	09年第2Q 累計		08年第2Q 累計		増減	
税金等調整前中間純損益		30		447		477
減価償却費	148	178	602	155	454	23
受取手形及び売掛金の増減額		400		184		216
リース債権及びリース投資資産の増減額		332		-		-
たな卸資産の増減額		508		633		1,141
支払手形及び買掛金の増減額	240	336	307	142	547	478
法人税等の支払額		17		221		204
その他		10		22		12
営業活動		361		52		309
有形固定資産の取得による支出		119		313		194
有形固定資産の売却による収入		1		2		1
投資有価証券の取得による支出		0		41		41
投資有価証券の売却による収入		1		0		1
その他		7		8		1
投資活動		124		360		236
フリーキャッシュフロー		237		308		545
短期借入金の増減額		516		262		778
長期借入金の増減額		109		43		66
社債の発行による収入		299		0		299
社債の償還による支出	113	5	200	105	313	100
配当金の支払		82		82		0
利息の支払等	109	27	138	56	29	29
財務活動		222		62		284
現金及び現金同等物に係る換算差額		7		3		4
現金及び現金同等物の増減額		8		249		257
現金及び現金同等物期首残高		401		687		286
現金及び現金同等物期末残高		409		438		29

業績予想

(単位:億円)

•業績数値は7月発表時点から変更無し

•円高傾向のため、下期ドル為替レートを90円/\$ (当初95円/\$) に変更

•現時点以上に円高で推移してもリスクヘッジを実施済みのため、業績への影響は軽微

•配当は、09年4月発表通り、中間配当5円 (決定済み)、期末配当5円、年間10円を最低でも実施

	09年度 予想	08年度 決算	対前年 同期比
売上高	(5,900) 5,900	7,442	79%
営業利益	(240) 240	488	49%
経常利益	(156) 156	478	33%
当期純利益	(50) 50	183	27%
為替	売上計上レート(円/ドル)	92.23	101.37
	予約反映後レート(円/ドル)	93.68	103.05
	売上計上レート(円/ユーロ)	130.81	155.54
	予約反映後レート(円/ユーロ)	133.58	159.41

1株当り配当金	10円	44円	-34円
---------	-----	-----	------

注.()内は09年7月対外発表値

09年下期の為替レート	
下期予算レート(円/ドル)	90.00
予約反映後レート(円/ドル)	93.20
下期予算レート(円/ユーロ)	130.00
予約反映後レート(円/ユーロ)	133.70

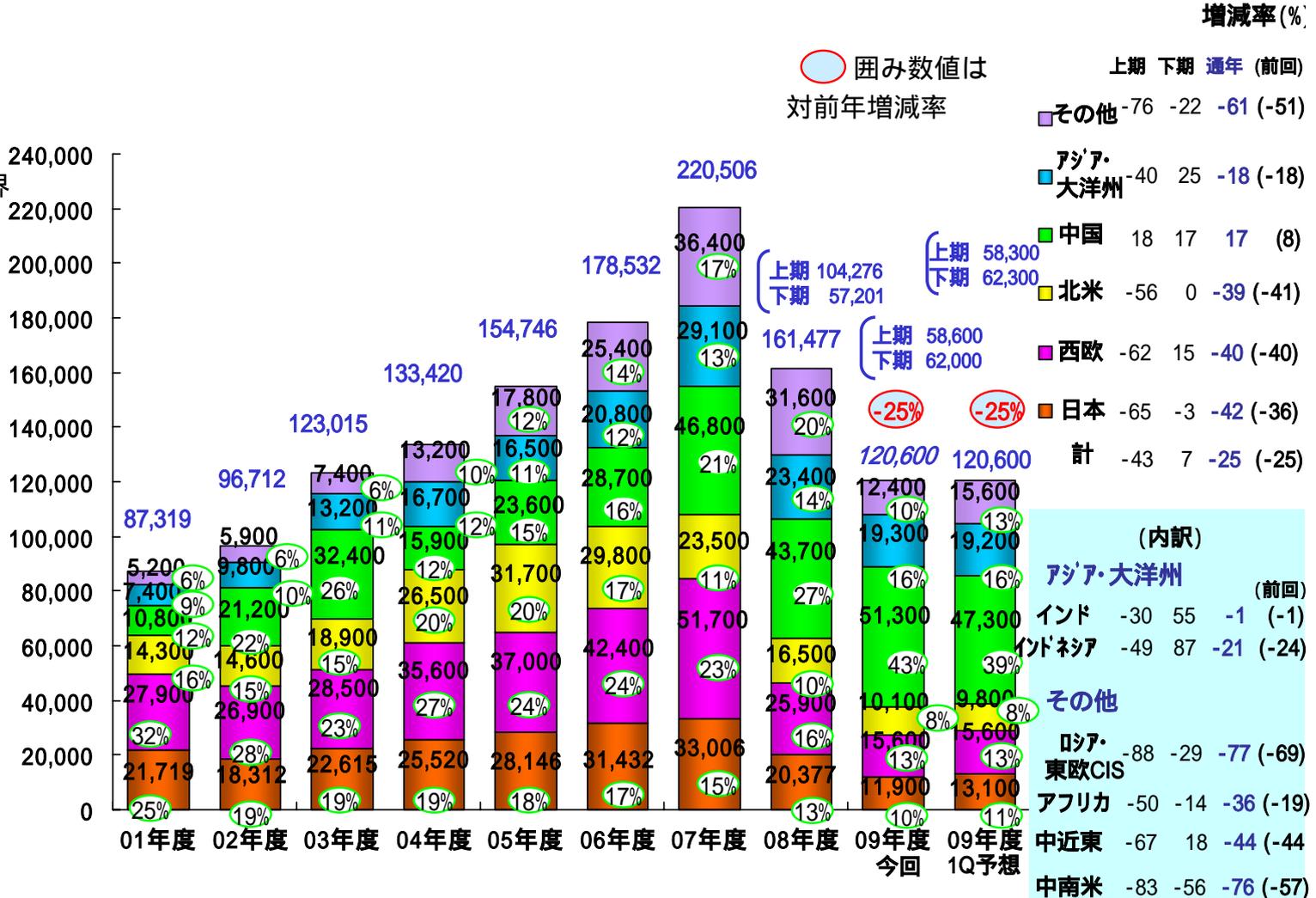
(複写・転用は御遠慮下さい)

油圧ショベル世界需要推移

(当社調べ)

(台/年) 3月締ベース

・油圧ショベル世界需要トータル台数は前回から変更なし
 ・内訳は変更あり 中国は大幅に増加、日本・その他地域を下方修正



地域別売上比率・売上高(連結)

海外売上高
比率 72%

•中国、アジア大洋州、日本合計の売上高は世界売上高の75%となる

•中国売上高の確保

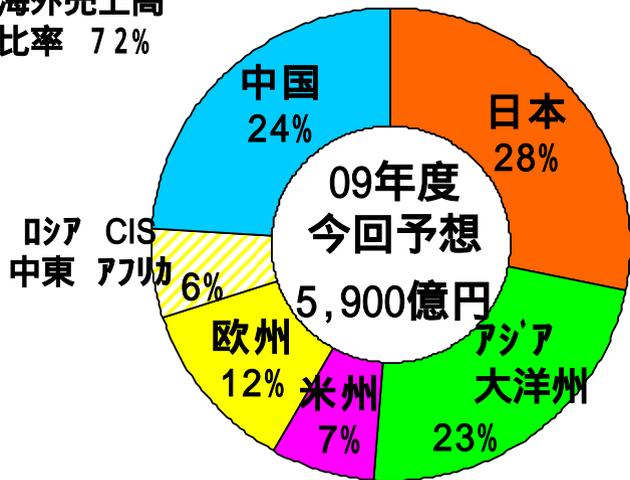
シェア回復により市場の伸びに沿った売上を確保

•ロシアCIS

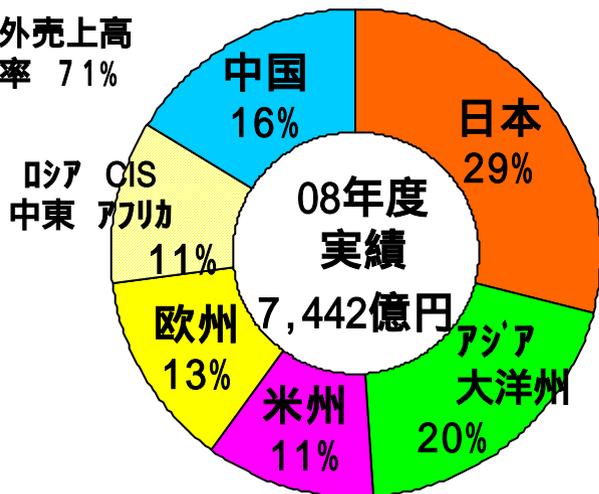
一部機種の出荷再開

•欧州

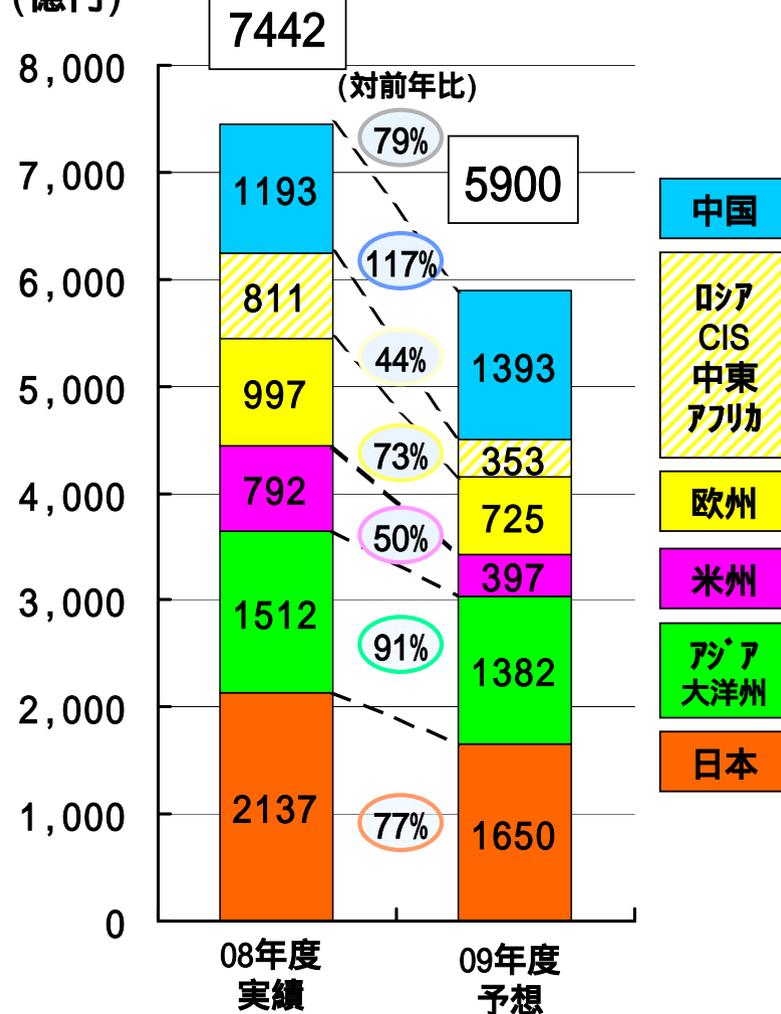
上期のシェアを維持し売上高確保



海外売上高
比率 71%



(億円)



(注1) % は対前年伸び率

所在地別 売上高・営業損益内訳(予想)

17

(単位:億円)

•通期営業利益

日立建機

上期の生産調整、円高等の影響で通年で 238億(前年比 218億)

国内

製造の 29億をレンタル、ソフト事業でカバーし、年間で黒字化(前年比 59億)

海外

製造、販売・サービスは黒字(前年比 112億)

•連結調整

棚卸資産の未実現利益今年度+124億(前年は+64億)含む

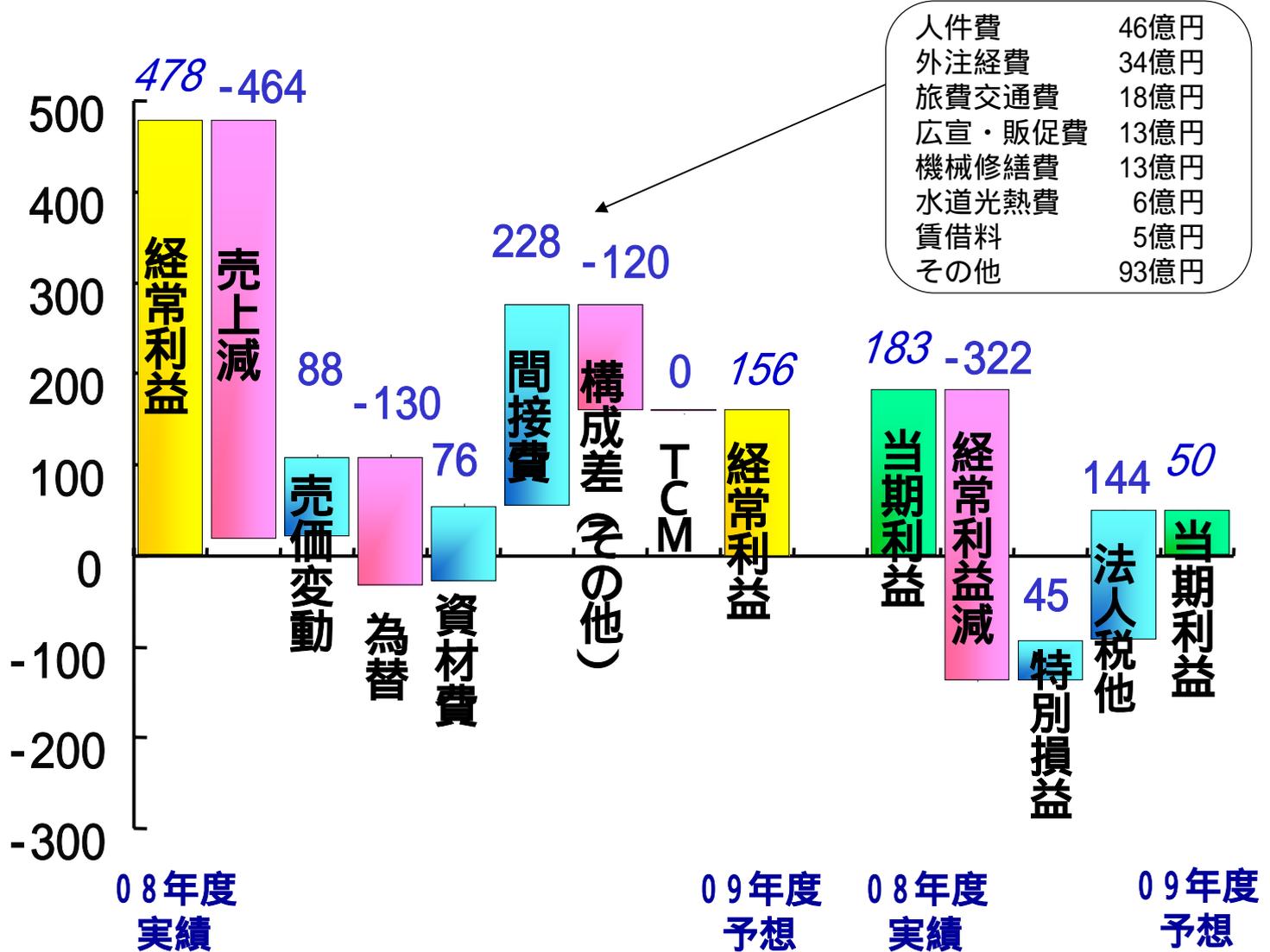
以上合計で今年度営業利益240億を確保

		売上高			営業損益		
		09年度 予想(A)	08年度 実績(B)	増減 (A-B)	09年度 予想(C)	08年度 実績(D)	増減 (C-D)
日立建機		2,347	3,982	1,635	238	20	218
国内	製造	640	1,150	510	29	49	78
	レンタル	354	371	17	8	2	6
	ソフト事業他	683	1,157	474	24	11	13
計		1,677	2,678	1,001	3	62	59
海外	製造	2,148	2,732	584	107	164	57
	販売・サービス	2,932	3,129	197	226	281	55
計		5,080	5,861	781	333	445	112
TCMグループ 注1		762	1,247	485	18	11	7
合計		9,866	13,768	3,902	80	476	396
連結調整		3,966	6,326	2,360	160	12	148
連結売上高・営業利益		5,900	7,442	1,542	240	488	248

注1) TCMグループ連結数値

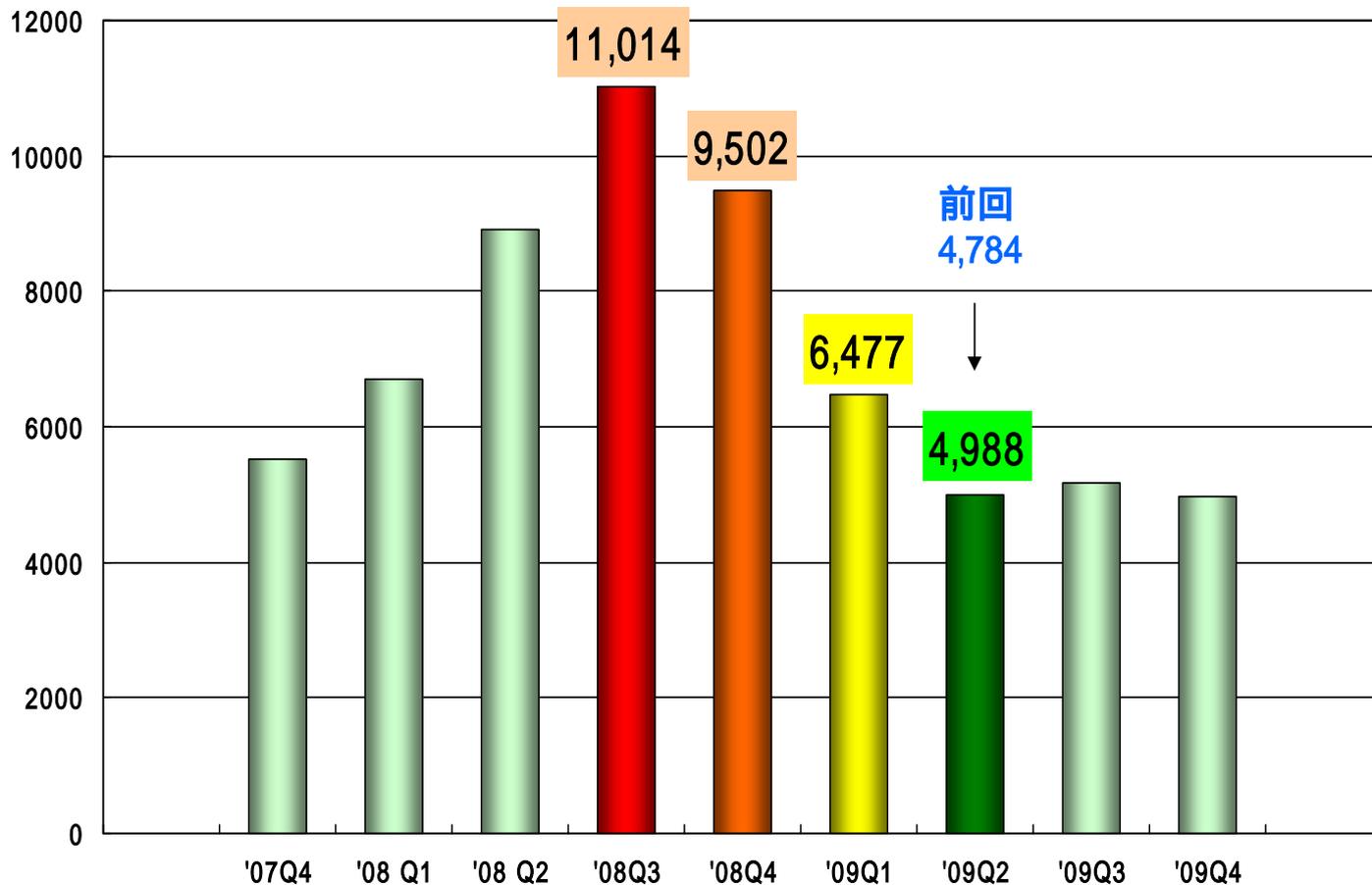
連結損益変動要因(予想)

- 中間期と同様の傾向
- 売上減、円高の影響が大
- 資材費**
前年比落差で8%の低減実施
- 売価**
前年度の売価アップの維持と東南アジア一部地域での売価アップ実施
- 間接費**
上期に引続き計画以上の削減を実施



連結 油圧ショベル在庫推移

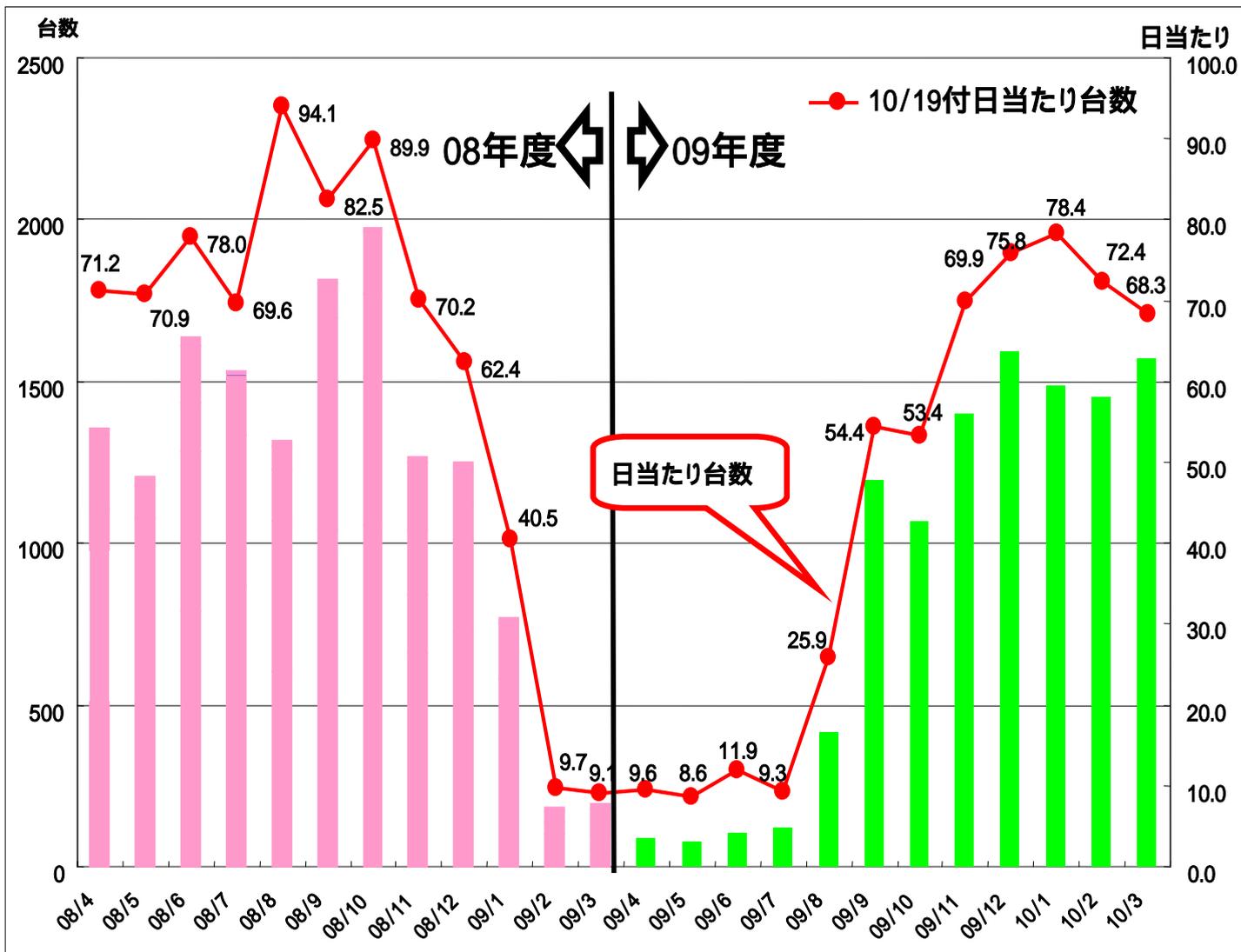
- 2008年12月
11,014台の在庫
をピークとし、9月
末で4,988台まで
圧縮
- 7月時点計画と
比べ約200台未
達だが、概ね適
正水準となる
- 10月から帰休解
除し、需要に応
じた生産を再開
する



コンポ日当り生産台数 10/19

•09年2月～8月
まで大幅な減産
を実施し、在庫
圧縮

•世界需要は大き
くは回復しない
が、9月以降、
操業度は表示
の通り急激に回
復



完